

株式会社ウチダシステムズ



株式会社ウチダシステムズのオフィス



(左より) 法人第二営業部 吉田 学 様
法人第二営業部 長谷川 友香 様
管理部 渡辺 千砂子 様
設計デザイン室 尾花 隆 様

会社概要

- 本社所在地: 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー14階
- 従業員数: 237名
- 事業内容: オフィス空間のデザイン・設計、施工、内装工事を行うオフィス環境事業。幼稚園・保育園・小中高への教育機器・教材の販売等を請け負う教育システム事業。福祉施設の開設支援、家具・用品の販売等を展開する福祉施設事業。
- URL: <http://www.uchida-systems.co.jp/>

サテライトオフィスの活用で課題だった移動時間の短縮を実現

課題となっていた移動時間は、サテライトオフィスの活用でかなり改善されました。客先から会社に戻らず、サテライトオフィスで作業して次の訪問先に出掛けることができるので、移動時間の短縮とともに生産性向上が実現しました。カフェと違ってセキュリティが担保されているのも安心で、資料の印刷もできるので使い勝手も良好です。また、提案書や企画書の作成等、一人で集中して行う業務にも適した環境でした。

チャットツールは利便性が高くテレワーク実施には不可欠

テレワークは、相手の状況が見えないため、日常的な声掛けや相談が難しくなります。しかし、そうしたコミュニケーションの課題は、チャットツールによって改善されました。チャットツールは、メールに比べて気軽な声掛けに適してい

るため、テレワーク時のコミュニケーションに不可欠だと認識しました。当初は年次の高い社員から抵抗感を示されたこともありましたが、慣れるに従いコミュニケーションもスムーズになっていきました。チャットツールを活用することで、テレワーク中の社員と社内にいる社員とが積極的に情報共有する姿勢が見られる等、コミュニケーションに対する意識も変わりました。

モデル実証を終えて テレワークに対応した規程を整備し、 2019年7月以降の本格導入を目指す

モデル実証事業を通じて、テレワークを社内に定着させることができると分かりましたので、今後はテレワークに対応した社内規程を整備する等、制度化を検討していきます。2019年7月までに規程や体制を固めて本格導入を目指したいと思います。将来的には、お客様に提案する前提で実践と検証を重ね、オフィス環境と働き方の両面で、より総合的なソリューションを提案できる企業を志向していきます。

経営課題

テレワークの導入による生産性の向上

外出の多い営業と内勤業務の社員の両方で テレワークの実践と検証を重ねたい

働きやすさ・働きがいと生産性の向上 モデル実証事業に参加

当社は、オフィス空間のデザイン・設計・施工・内装工事等を通じて、働きやすい環境を創造してきました。オフィス空間作りの豊富な経験とノウハウを生かし、教育関連や福祉関連の施設へと業務のフィールドを広げています。オフィス空間作りは、単にスペースを形にすることではありません。どうありたいのか、どう働きたいのか、そうした経営層の思いや働く人のアイデンティティを形にしていける仕事です。また、オフィス環境は働きやすさと密接に関わっています。当社は、オフィス環境を創造する企業として、まず自分たちの働きやすさと生産性向上について追求したいと考えました。そこで、業務の棚卸しを行い、各業務に要している時間を算出したところ、営業担当の社員の移動時間が非常に多いことが判明しました。お客様とお会いしている時間と同程度の時間を移動時間に費やしている現状を踏まえ、これを削減することが急務と考えました。対策を検討する中でテレワークに行き着き、実践に向けたトライアルを行うためにモデル実証事業に参加しました。

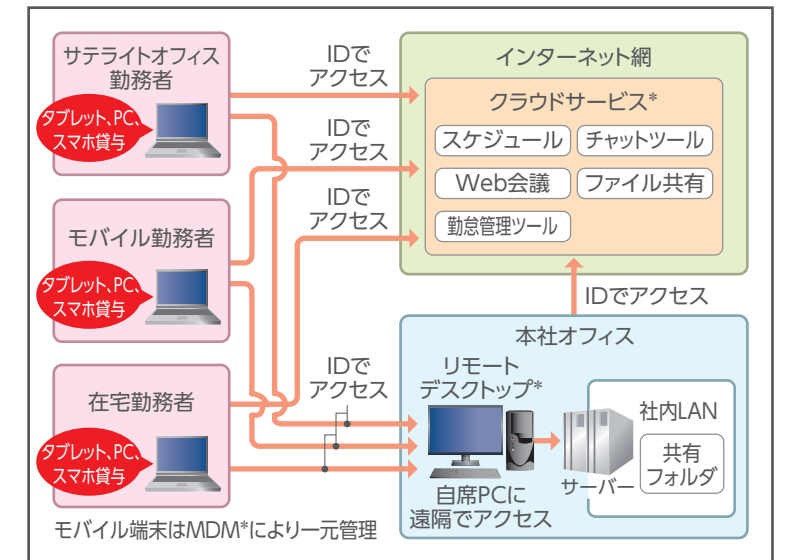
実践前に業務の洗い出しを行い テレワークに適した業務を明確に

モデル実証事業に参加した社員は、営業部から4名、設計デザイン室から1名、管理部から1名の計6名です。営業担当の社員はサテライトオフィスを週2回以上利用し、併せてモバイル勤務を実施しました。デザイナーと管理部の社員は、週1〜2回の在宅勤務を行いました。活用したツールは、スケジュール管理と情報共有のためのグループウェア、勤怠管理ツール、Web会議、チャットツール、リモートデスクトップ*と多様です。サテライトオフィスは、個室で集中できるタイプと、設備や作業空間が充実したタイプの施設を用途に合わせて使い分けました。実践に当たっては、テレワークに適した業務のみを対象にするのではなく、普段行うすべての業務をテレワークで実現できないかという観点から、現状のままテレワーク可能な業務、電子化によって対応可能な業務、契約書の捺印等のテレワーク不可能な業務に切り分け、業務の洗い出しを行いました。コンサルタントのアドバイスで行ったこの準備により、テレワークでどのような業務を行うべきか明確になり、実践と検証の際に役立ちました。

解決ポイント



Web会議を行う長谷川 友香 様



経営課題

- 移動時間を短縮し、業務効率を向上させたい
- テレワークに関する経験と知見を得たい

導入概要

- 営業担当の社員4名がモバイル勤務とサテライトオフィス勤務、デザイナーと管理部の社員2名が在宅勤務を実施
- 検証に当たり、テレワークが可能な業務の洗い出しを実施
- 営業担当の社員が、サテライトオフィスにて商談の隙間時間に資料作成を実施
- チャットツールによる円滑なコミュニケーション環境の構築

導入効果

- テレワーク可能な業務の洗い出しを実施
- サテライトオフィス勤務による移動時間の短縮
- チャットツールによるコミュニケーションの充実

ADVICE コンサルタントからのアドバイス



モデル実証事業では、業務効率の向上を目指して、サテライトオフィスを積極的に活用し、課題となっていた移動時間の短縮を実現できました。テレワーク導入を検討している企業でも移動時間の短縮等、社員の生産性の向上は課題だと思われます。サテライトオフィスの数は年々増えていて、利便性が高まっています。また、ネットワークも完備され、個室利用ができる施設もあるため、セキュアな環境での業務が可能で、作業効率も向上するためお勧めです。

注釈(*)の用語解説はP57をご覧ください。